

教 授 会 議 事 録

日 時：平成 18 年 10 月 10 日（火）15 時 34 分から 18 時 14 分

場 所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 27 名、助教授 18 名

議事に先立ち、平成 18 年 10 月 1 日付け採用の助手から自己紹介があった。

議事録の確認

平成 18 年 9 月 12 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議

所長から、9 月 19 日に開催された部局長連絡会議について、下記の報告があった。

- ① 平成 19 年度概算要求について
- ② 剰余金（目的積立金）の学内運用ルール等について
- ③ 平成 18 年度総長裁量経費（第 2 回）について
- ④ 名誉教授称号授与に関する検討 WG の報告について
- ⑤ 平成 19 年度実施大学機関別認証評価について
- ⑥ 研究費の不正な使用への対応について
- ⑦ 新東京分室（仮称）設置の提案について
- ⑧ 東北大学サイエンス・エンジェル実施要項の制定について
- ⑨ 平成 18 年度科学研究費補助金交付内定状況等について

このことに関連して、所長から、平成 19 年度科学研究費補助金への申請について、積極的に応募してもらいたい旨の付言があった。

- ⑩ 平成 17 年度に係る業務の実績に関する評価結果について

引き続き、本日（10 月 10 日）午前中に開催された部局長連絡会議について、代理出席した白鳥副所長から、下記の報告があった。

- ⑪ 旧「有朋寮」の建物明渡等請求訴訟の最高裁判決について
- ⑫ 新東京分室（仮称）設置の提案について
- ⑬ 11 月 6 日からの東北大学新執行部の運営体制について

(2) 教育研究評議会

所長から、本日（10 月 10 日）13:00 から開催された教育研究評議会において、9 月 11 日に青葉山新キャンパスの登記手続きが終了したとの報告があった。

(3) 財務戦略会議

所長から、9 月 12 日に開催された財務戦略会議において、平成 18 年度以降の教員人件費について審議したとの報告があった。

(4) 学務審議会

10 月 2 日に開催された学務審議会において、9 月に実施した全学教育担当教員 FD 時に無断退席者

がいて問題になり、再度受講することになったとの報告があった。また、来年度以降の出席をお願いする場合がありますので、協力願いたいこと。

(5) 男女共同参画委員会

10 月 15 日（日）10：00 から仙台国際センターで開催される第 5 回東北大学男女共同参画シンポジウムに、積極的に参加願いたい旨の依頼があった。

(6) 学生生活協議会

10 月 2 日に開催された学生生活協議会において、旧「有朋寮」建物明渡等請求訴訟について、最高裁が学生らの上告受理申立ての不受理を決定したこと。今後、時期は未定であるが、司法当局が立退きの代理執行手続きに入ることとなるとの報告があった。

2. 運営会議等報告

(1) 評価委員会

所長から、9 月 28・29 日に開催した第 4 回外部評価委員会の実施状況の報告があり、報告書については現在取り纏め中等であること及び、協力に対する謝辞があった。

(2) 研究企画戦略室

10 月 5 日に開催した研究企画戦略室会議について、下記の報告があった。

- ① 平成 19 年度科学研究費補助金の応募について、通研の締切りは 10 月 20 日（金）であるので留意願いたいこと。
- ② 平成 19 年度総務省戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）の応募締切りは、10 月末であること。
- ③ 世界トップレベル研究拠点構築のための意見交換及び関連施設視察のために、文部科学省の担当者が 10 月 11 日 16：00 に来所するので、関係各位には協力願いたいこと。

(3) 安全衛生委員会

9 月 26 日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ① 作業環境測定結果の報告があり、指摘事項については各研究室に改善の依頼を行っていること。前回に比べて改善が進んでいるとの評価を受けたこと。
- ② 学生の教育研究時における災害時に、東北大学病院を受診した場合は、個人負担分を大学から補助されるので留意願いたいこと。なお、今後の手続きは、通研庶務係が窓口であること。
- ③ 薬品漏洩対策キットを各建物に配置したこと。キットの内容及び使用方法については、安全衛生管理室が実施する講習会で周知すること。
- ④ AED（自動体外式除細動器）の設置状況の調査依頼があったことに関連して、通研での設置について、安全衛生管理室で検討すること。
- ⑤ アスベストの除去工事を実施すること。電気室の工事の際は、電気切替作業を行うために停電が伴うので、協力願いたいこと。

(4) 移転対応プロジェクト委員会

委員長から、プロジェクターで先月課題となったことについて説明があり、種々議論し、教員室等の配置に関し出席者全員から意見聴取した結果、研究成果を上げるためにも教員室と研究室・実験室は、直近であることが望ましいとの意見が大勢であり、再度、移転対応プロジェクト委員会で検討することとした。

なお、建設予定地の地盤については問題ないこと及び、調理機能は休憩室に配置するとの報告があ

った。

また、新研究室の 1 研究室あたりの標準面積について、説明があった。

(5) 学部教務委員会

8 月 29 日及び 9 月 26 日開催の系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。

8 月の報告に関連して、2 年生の配属者のうち電気の希望者が多いことについて質問があったが、原因は特定できないので、情報があったらお知らせ願いたいこと。

また、9 月の報告に関連して、今年度の 3 年生に対する研究室見学説明会については、通研配属希望者を増やすための方策を通研総務委員会に検討願ったが、教務委員会で審議した結果、青葉山と通研を同等に見学させることとし、見学の順番は昨年度どおりの方法を踏襲することになったことの説明があり、各研究室の引率者について報告願いたいとの依頼があった。

なお、ガイダンス委員会から提案のあった、退職教授の研究室の 4 年生の配属数を減らすという案に関しては、継続審議中であること。

3. その他

(1) 職員の受賞について

議長から、配付資料に基づき、職員の受賞について報告があった。

(2) 研究所等研究生の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、研究所等研究生の受入れについて報告があった。

(3) 研究所等研究生の受入期間変更について

議長から、配付資料に基づき、研究所等研究生の受入期間変更について報告があった。

(4) 受託研究員の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、受託研究員の受入れについて報告があった。

(5) 教育研究支援者の任用について

議長から、配付資料に基づき、教育研究支援者の任用について報告があった。

(6) 奨学寄附金及び受託研究の受入れについて

経理課長から、配付資料に基づき、第二四半期の奨学寄附金及び受託研究の受入れ状況について、報告があった。

(7) 通研一般公開について

委員長から、配付資料に基づき、通研一般公開を 10 月 21・22 日に実施するので協力願いたい旨の依頼があった。

II. 協議事項

1. 次期所長候補者選考に伴う選挙管理委員会の設置について

議長から、所長の任期満了に伴う次期所長候補者選考のための選挙管理委員会を設置する旨の説明の後、委員については、慣例により年齢順で選出したいとの提案があり、承認した。

2. 教員の兼務について

議長から、情報シナジーセンターの組織改編に伴い、情報シナジー機構長より兼務依頼があったことについて説明があり、承認した。

3. 客員研究員の受入れについて

議長から、客員研究員の受入れについて、配付資料に基づき説明があり、承認した。

4. 研究基盤技術センター（仮称）設置構想について

研究基盤技術センター（仮称）設置構想について、配付資料に基づき説明並びに提案があり、承認した。なお、平成 19 年 4 月から正式に発足したいこと。また、技術部職員には技術部長である所長から説明願いたいこと及び、予算委員会においては、新センターの予算措置についても検討してほしい旨の依頼があった。

Ⅲ. その他

(1) アスベスト対策工事について

経理課長から、アスベスト除去工事について、配付資料に基づき説明並びに協力依頼があった。

(2) 検収実施体制に関する今後の改善・充実方策について

経理課長から、配付資料に基づき、購入物品の納品検査の方法について説明があり、種々議論した結果、「自己の科学研究費の納品検査は、他の検査担当職員が行い、自らが納品検査は行わないこと。」となっているが、共同研究に係る分も自己の分であるとのことであれば、研究室所属教員はほとんどが共同研究の分担者であり、今回の提案方法では難しいとの意見があり、経理課において方策を再度検討することとした。

(3) 研究環境基盤部会委員の附置研究所訪問日程について

議長から、科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会委員の東北大学訪問日が、12 月 11 日に決定したこと及び、対応については、所長・副所長・所長補佐・共同利用委員会等が行うとの報告があった。

(4) 職員の労務管理・労働時間管理等について

議長から、工学研究科において、仙台労働基準監督署より、裁量労働者の労働時間の把握・管理について指導を受けたことから、通研においては、やわらかセンター等と相談しながら、効率的に労働時間を把握・管理できる体制を検討したいと考えているとの発言があった。

(5) 次回の開催について

平成 18 年 11 月 7 日（火）14：00 から開催することとした。